

令和6年2月1日研究公開報告

令和4・5年度大隅地区研究協力校研究公開

鹿屋市立寿北小学校で

「学力向上（算数科）」についての研究公開が開催されました。

令和6年2月1日（木）に、鹿屋市立寿北小学校にて、大隅地区研究協力校「学力向上（算数科）」研究公開が行われました。寿北小学校は、令和4年度から2年間、算数科を中心に学力向上の研究を進めてきました。研究主題は、[子供が「『できた』『分かった』『使えた』」と実感できる姿を目指して～「コトキタ学習指導の3つの視点」を踏まえた算数科の指導方法の改善を通して～]です。

本年度最後の大隅地区研究協力校研究公開である本会には、小・中の校種を超えて多数の参加者が集いました。授業は、低・中・高学年で公開され、発達の段階を踏まえて授業研究を行うこともできました。寿北小の先生方の熱意とこれまでの研究の積み重ねが伝わるとも素晴らしい研究公開になりました。



【開会のあいさつ】
伊藤 太 校長先生

【研究発表】

子供たちに確かな学力を養い、「できた」「分かった」「使えた」と実感させることを目指した寿北小学校の研究について、研修係の岩崎先生が明確に説明されました。本研究では、「コトキタ学習指導の3つの視点」を設定し、「授業改善」「学習環境の整備」「家庭教育の充実」を重視しております。特に、「ことばカード」や「考えどうなつ」「3つの振り返り」の共通実践は、先生方の熱意がとて伝わってきました。



【研究発表の様子】

【公開授業：第3学年】

単元名「分数」（教材名「みんなと学ぶ小学校算数」学図3年下）

日常生活の中で分数の減法を適用する場面を想起し、同分母分数の減法の計算の仕方を考える学習でした。子供たちは、「もとにする分数」や「いくつ分」等のことばカードを活用して、主体的に自力解決に取り組んでいました。さらに、各自の結果を発表し合う場面では、「どうして」「なんで」「つまり」という、「考えどうなつ」を生かして、いろいろな考え方を積極的に説明する姿も見られました。



【3年生の授業】

【公開授業：第1学年】

単元名「たすのかな ひくのかな」

（教材名「みんなとまなぶしょうがっこうさんすう」学図1年下）

どんぐりの数を比較して、少ない方の数を求める学習でした。「～よりすくない」「比べる」等のことばカードを黒板に掲示して、子供たちが解決の見通しをもてるように工夫しました。

グループで考えるために、各自のタブレットには、教師から図も送信されました。子供たちは、発表の相違点や共通点も考え、まとめや振り返りもがんばっていました。



【1年生の授業】

【公開授業：第5学年】

単元名「体積」（教材名「みんなと学ぶ小学校算数」学図3年下）

直方体や立方体の体積の求め方を生かして、2種の複合立体の体積を求める学習でした。「たて×よこ×高さ」等の既習事項が書かれた「ことばカード」を活用して、教員のやりとりが活発に行われていました。

また、グループで模型を動かして、「分ける」「足す」「ひく」等、いろいろな求め方を話し合う姿も見られました。タブレットを活用して、グループの考えを全体で共有することもできました。



【5年生の授業】